

2014年7月30日

各位

オリックス株式会社
(コード番号: 8591)

2015年3月期 第1四半期連結決算
当期純利益は前年同期比52%増の686億円
～営業収益、当期純利益ともに過去最高額を計上～

2015年3月期第1四半期（2014年4月1日～2014年6月30日）の米国会計基準連結決算における営業収益は前年同期比59%増の4,377億円、税引前当期純利益は同80%増の1,113億円、当期純利益は同52%増の686億円となりました。

なお、当期純利益は、通期の連結業績目標2,100億円に対しておよそ33%の進捗となり、第1四半期の営業収益、当期純利益としては、ともに過去最高額を計上しました。

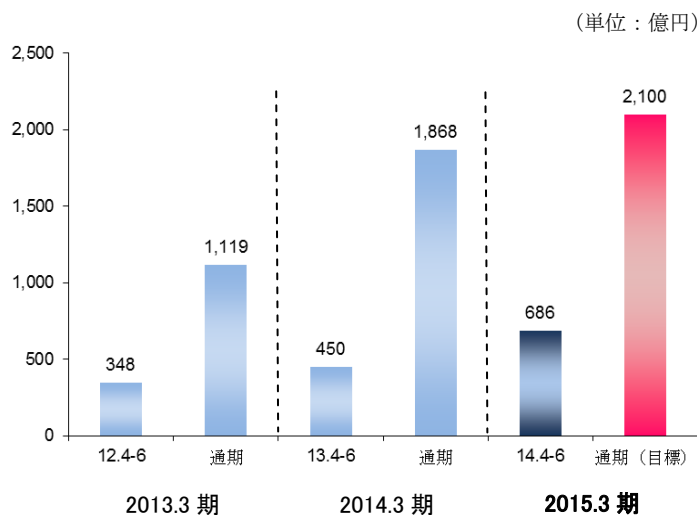
■ 主な経営指標の推移

	2013. 4-6	2014. 4-6	増減率
営業収益	2,761 億円	4,377 億円	59%
税引前当期純利益	619 億円	1,113 億円	80%
当期純利益 (※)	450 億円	686 億円	52%

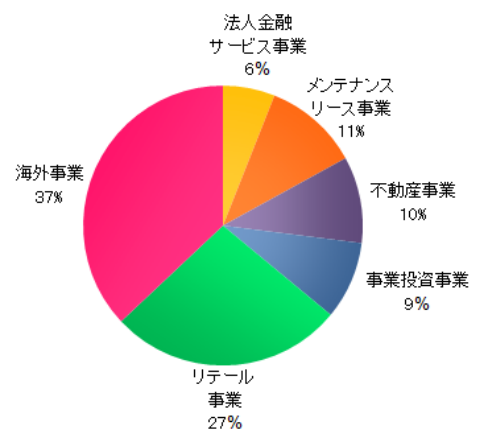
	2014. 3	2014. 6	増減率
総資産	90,694 億円	89,807 億円	▲1%
セグメント資産	72,814 億円	71,820 億円	▲1%
株主資本 (※)	19,187 億円	19,435 億円	1%
株主資本比率 (※)	21.2%	21.6%	—

(※)「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する四半期当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』



『当四半期のセグメント利益内訳』

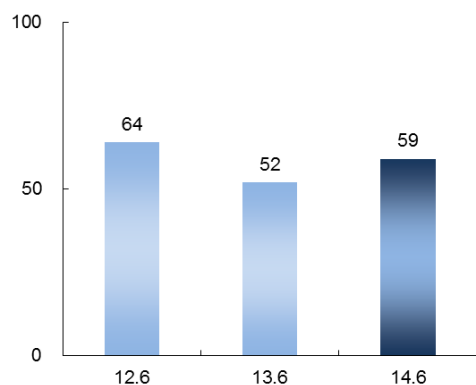


■ 各セグメントの業績概要（2014年4月1日～2014年6月30日）

当四半期は、前年同期と比較すると、「海外事業部門」と「リテール事業部門」が全体の利益を大きく牽引しました。また、「不動産事業部門」も大幅に増益、加えて「法人金融サービス事業部門」「メンテナンスリース事業部門」が堅調に推移しました。

【法人金融サービス事業部門】

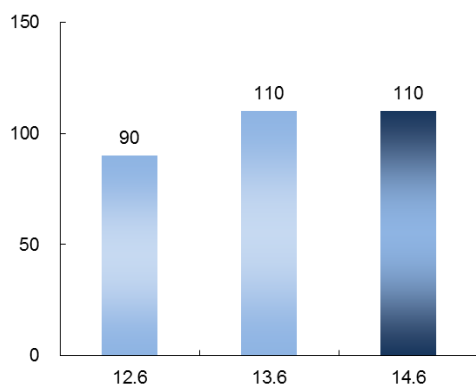
融資、リース、各種手数料ビジネス
＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）



- ・ファイナンス・リース収益は、平均資産残高の増加に伴い堅調に推移。
- ・太陽光パネル販売や生命保険販売などの手数料収益が順調に増加。
- ・セグメント利益は、前年同期比 12% 増の 59 億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

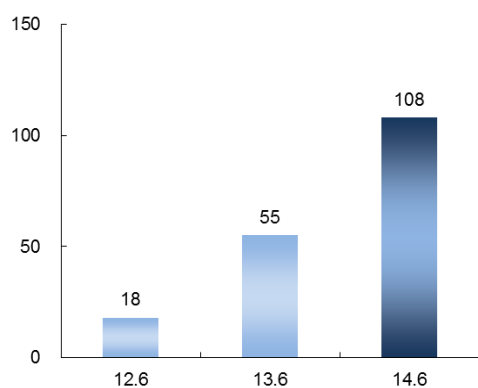
自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース
＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）



- ・資産残高の増加によりリース収益が増加する一方、中古車売却益は減少。
- ・付加価値サービスの寄与もあり、高収益性を堅持。
- ・セグメント利益は、前年同期並みの 110 億円を計上。

【不動産事業部門】

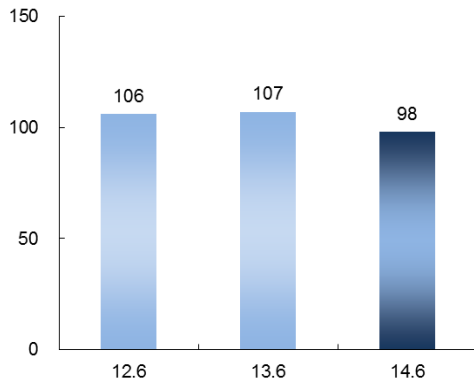
不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問
＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）



- ・資産の圧縮に伴い、賃貸収益や金利収益が減少。
- ・好調な不動産市況を捉え、賃貸不動産売却益が増加し、棚卸資産や長期性資産の評価損が減少。
- ・セグメント利益は、前年同期比で約 2 倍の 108 億円を計上。

【事業投資事業部門】

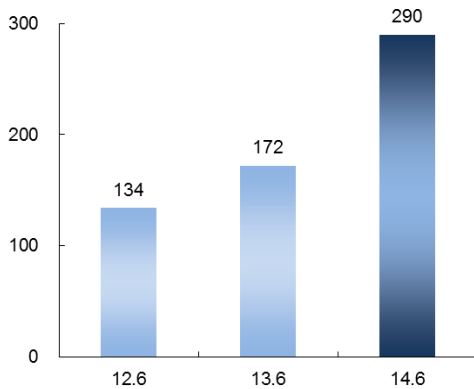
環境エネルギー関連、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）
＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）



- 投資先からの取込利益と環境エネルギー関連事業収益が貢献。
- サービサー事業における営業貸付金収益が減少。
- セグメント利益は、前年同期比 8%減の 98 億円を計上。

【リテール事業部門】

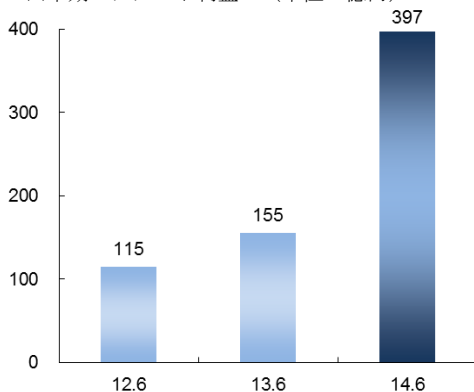
生命保険、銀行、カードローン
＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）



- 銀行事業における貸付金収益や生命保険事業における保険料収益が順調に増加。
- マネックスグループの株式売却益を計上。
- セグメント利益は、前年同期比 68%増の 290 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、アセットマネジメント、船舶・航空機関連
＜四半期セグメント利益＞（単位：億円）



- ロベコのアセットマネジメント収益が寄与、米国の手数料ビジネスも好調。
- STX Energy（現：GS E&R Corp.）の株式売却益を計上。
- セグメント利益は、前年同期比で約 2.6 倍の 397 億円を計上。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、引き続き中期的な経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進していきます。また、“既存ビジネスの成長と変革”を掲げ、既存の事業基盤の再構築と環境の変化に応じた新たな事業機会への挑戦を目指していきます。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 堀井・石井・中村 TEL : 03-3435-3167